

救急・救助

第1 救急活動の概況

1 救急業務実施体制

平成20年4月1日において救急業務を実施している市町村は44市町村で、県人口の99.9%がカバーされている。

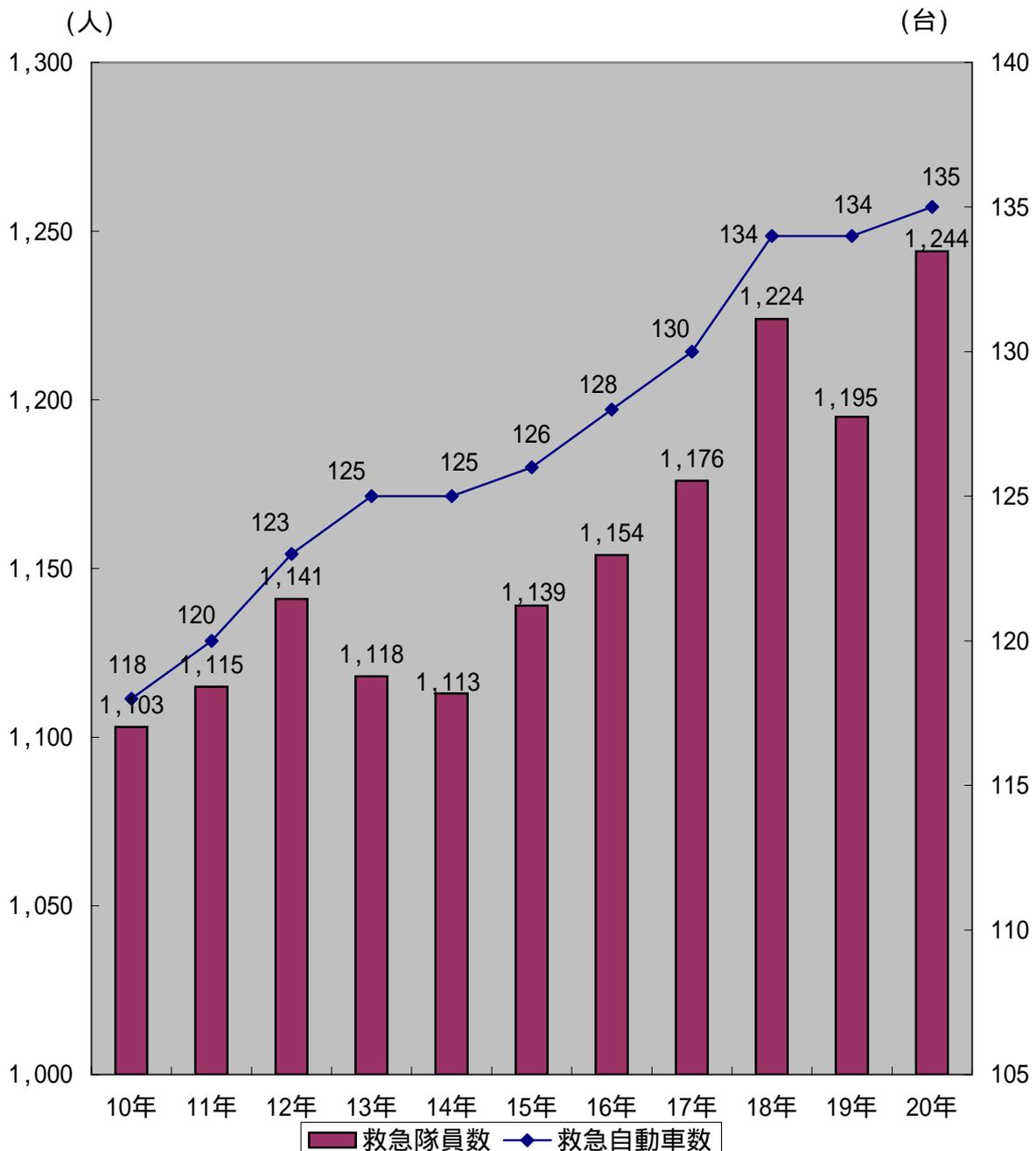
救急自動車の保有台数は135台、救急隊員は1,244人（専任279人，兼任965人）うち休日等の代替要員を除くと996人で、前年に比べ救急隊員は49人増加している。また、救急告示医療機関は96機関，その他医療機関は，1,508機関となっている。

平成3年8月にプレホスピタル・ケア充実の一環として、救急隊員の行う応急処置の範囲が拡大されるとともに、高度な応急処置を行うための新たな国家資格制度として救急救命士制度が導入され、救命率の向上を目指した救急業務の高度化が推進されている。

平成20年4月1日現在、県内全消防本部で救急救命士を運用（一部運用を含む）しており、資格者合計324名のうち312名が救急業務に従事している。

図-1 平成10年以降の救急自動車及び救急隊員数の推移

(各年4月1日現在)



2 救急業務実施状況

(1) 概要

平成19年中における救急出場件数は67,986件、搬送人員は63,812人で、これを昨年と比べると救急出場件数は1,144件（1.7%）、搬送人員1,082人（1.7%）の増加となっている。

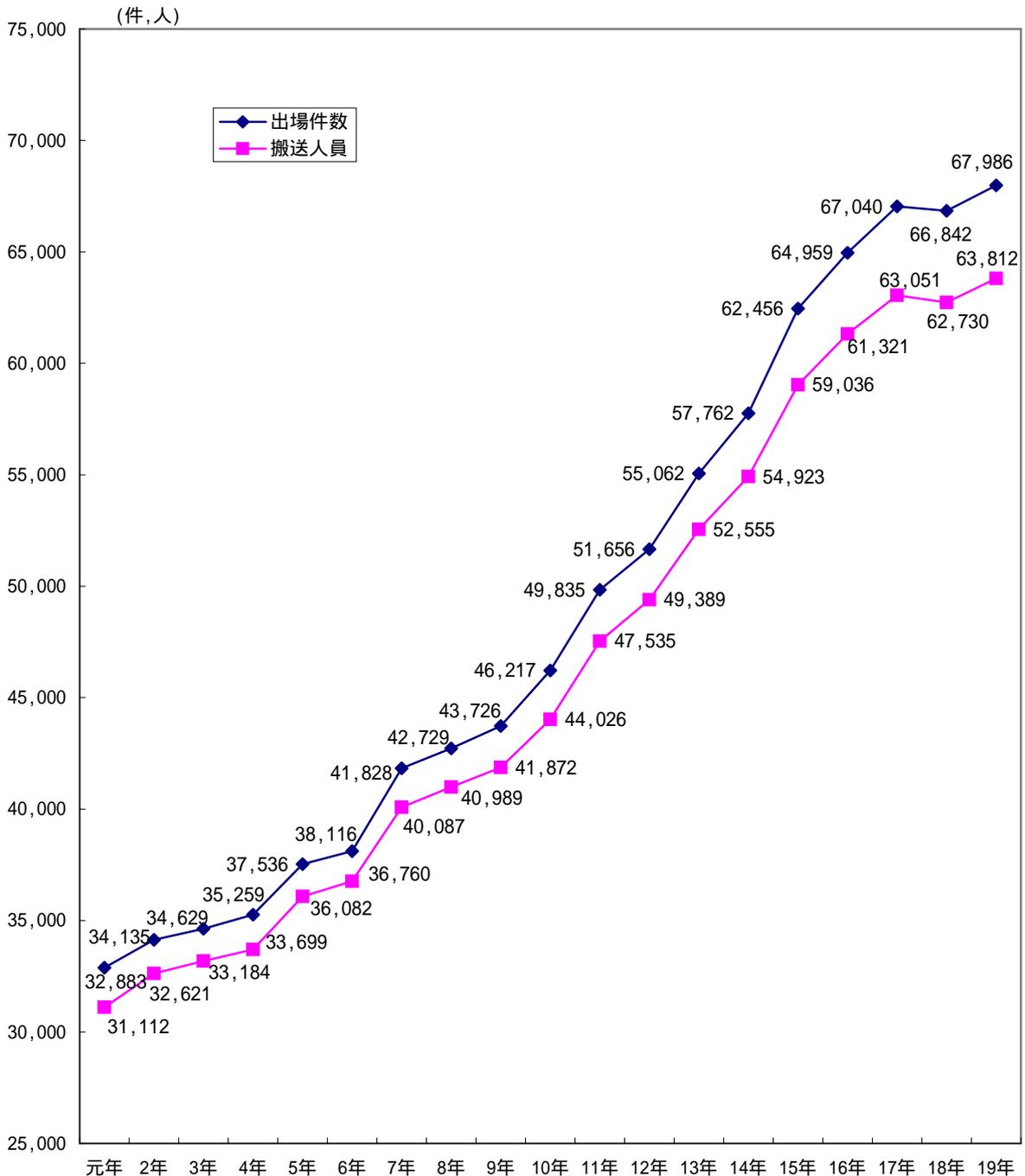
これは、1日平均186.3件（前年183.1件）、約7.7分に1回の割合で救急隊が出場し、また1日平均174.8人（前年171.9人）、約8.2分に1人、約27人に1人の割合で搬送されている。

事故種別別救急出場件数は、前年と同じく1位が急病で37,994件（全体の55.9%）、次いで一般負傷8,174件（同12.0%）、交通事故が6,777件（同10.0%）となっている。

また、搬送人員については、救急出場件数と同様、1位が急病で35,258人（全体の55.3%）、次いで一般負傷が7,671人（同12.0%）、交通事故が7,257人（同11.4%）となり、上位3位までで全体の78.7%を占めている。

昭和63年からの県内救急活動の推移は下図のとおりであるが、平成18年を除き、搬送人員・出場件数とも増加の一途をたどっている。

図-2 平成元年以降の救急出動件数、搬送人員の推移



(2) 事故種別，傷病程度別及び年齢区分別搬送人員の状況

表-1 事故種別出場件数及び搬送人員の状況

(単位：件，人，%)

区分		計		急病		交通事故		一般負傷		その他	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
平成19年	出場件数	67,986	100.0	37,994	55.9	6,777	10.0	8,174	12.0	15,041	22.1
	搬送人員	63,812	100.0	35,258	55.3	7,257	11.4	7,671	12.0	13,626	21.4
平成18年	出場件数	66,842	100.0	37,174	55.6	6,717	10.0	7,825	11.7	15,126	22.6
	搬送人員	62,730	100.0	34,493	55.0	7,138	11.4	7,345	11.7	13,754	21.9
増減	出場件数	1,144	-	820	-	60	-	349	-	85	-
	搬送人員	1,082	-	765	-	119	-	326	-	128	-

(注) その他は，火災・自然災害・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他(転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他)を示す。

ア 年齢別搬送人員

搬送人員の年齢別事故種別をみると，高齢者，成人では，急病が高い率を占め，少年は交通事故が高い比率を占めている。

表-2 年齢別搬送人員の状況

(単位：人，%)

区分	計	構成比	急病		交通事故		一般負傷		その他	
				構成比		構成比		構成比		構成比
新生児	200	100.0	40	20.0	3	1.5	24	12.0	133	66.5
乳幼児	2,458	100.0	1,356	55.2	243	9.9	574	23.4	285	11.6
少年	2,807	100.0	949	33.8	975	34.7	328	11.7	555	19.8
成人	23,744	100.0	12,478	52.6	4,418	18.6	2,070	8.7	4,778	20.1
高齢者	34,603	100.0	20,435	59.1	1,618	4.7	4,675	13.5	7,875	22.8
計	63,812	100.0	35,258	55.3	7,257	11.4	7,671	12.0	13,626	21.4

(注) 新生児：生後28日未満の者

乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者

少年：満7歳以上満18歳未満の者

成人：満18歳以上満65歳未満の者

高齢者：満65歳以上の者

イ 傷病程度別搬送人員

平成19年中における搬送人員は63,812人であるが、これを傷病程度別にみると、軽症、中等症の両者で全体の82.0%を占めている。

表-3 傷病程度別搬送人員の状況（事故種別）

（単位：人，％）

区 分	合計		死亡	重症		中等症		軽症		その他		
	合計	構成比		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比			
火災	83	100.0	1	1.2	13	15.7	19	22.9	47	56.6	3	3.6
自然災害	7	100.0	1	14.3	4	57.1	1	14.3	1	14.3		
水難	51	100.0	10	19.6	21	41.2	10	19.6	10	19.6		
交通事故	7,257	100.0	35	0.5	493	6.8	1,793	24.7	4,926	67.9	10	0.1
労働災害	514	100.0	9	1.8	105	20.4	225	43.8	175	34.0		
運動競技	550	100.0			36	6.5	182	33.1	332	60.4		
一般負傷	7,671	100.0	37	0.5	1,096	14.3	2,885	37.6	3,643	47.5	10	0.1
加害	295	100.0	1	0.3	11	3.7	90	30.5	193	65.4		
自損行為	681	100.0	56	8.2	137	20.1	282	41.4	204	30.0	2	0.3
急病	35,258	100.0	456	1.3	4,270	12.1	16,795	47.6	13,716	38.9	21	0.1
その他	11,445	100.0	16	0.1	4,556	39.8	6,298	55.0	464	4.1	111	1.0
計	63,812	100.0	622	1.0	10,742	16.8	28,580	44.8	23,711	37.2	157	0.2

死 亡：初診時において、死亡が確認されたもの

重 症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの

軽 症：傷病の程度が入院を必要としないもの

その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

また、年齢別にみると、新生児、高齢者の場合は中等症の割合が高いのに対し、乳幼児、少年、成人の場合は、軽症の比率が高くなっている。

表-4 傷病程度別搬送人員の状況（年齢別区分）

（単位：人，％）

区 分	合計		死亡	重症		中等症		軽症		その他		
	合計	構成比		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比				
新生児	200	100.0	2	1.0	57	28.5	88	44.0	47	23.5	6	3.0
乳幼児	2,458	100.0	2	0.1	117	4.8	592	24.1	1,730	70.4	17	0.7
少年	2,807	100.0			144	5.1	806	28.7	1,854	66.0	3	0.1
成人	23,744	100.0	150	0.6	2,698	11.4	9,336	39.3	11,514	48.5	46	0.2
高齢者	34,603	100.0	468	1.4	7,726	22.3	17,758	51.3	8,566	24.8	85	0.2
計	63,812	100.0	622	1.0	10,742	16.8	28,580	44.8	23,711	37.2	157	0.2

- (3) 現場到着所要時間及び収容所要時間の状況
 平成19年中の救急出場件数67,986件について現場到着所要時間別（救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。
 これによると最も多いのは、5分以上～10分未満の33,635件で全体の49.5%を占めている。

表-5 現場到着時間別出場件数

区分	計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	収容平均 所要時間	
							県	全国
急病	37,994	1,994	7,263	19,531	8,403	803	7.6分	-
交通事故	6,777	455	1,637	3,290	1,280	115	7.0分	-
一般負傷	8,174	462	1,750	4,068	1,709	185	7.5分	-
その他	15,041	1,598	4,526	6,746	1,951	220	6.2分	-
計	67,986	4,509	15,176	33,635	13,343	1,323	7.2分	7.0分
構成比	100.0%	6.6%	22.3%	49.5%	19.6%	1.9%	-	-

平成19年中の搬送人員63,812人について、収容所要時間別（救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。
 これによると搬送人員のうち36,412人（57.0%）が30分未満で収容されていることになる。

表-6 収容所要時間搬送人員

区分	計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上	収容平均 所要時間	
								県	全国
急病	35,258	217	7,274	12,772	13,729	1,224	42	30.1分	-
交通事故	7,257	52	1,777	2,612	2,595	211	10	28.9分	-
一般負傷	7,671	50	1,630	2,689	2,951	337	14	30.5分	-
その他	13,626	158	3,634	3,547	4,769	1,445	73	33.5分	-
計	63,812	477	14,315	21,620	24,044	3,217	139	30.7分	33.4分
構成比	100.0%	0.7%	22.4%	33.9%	37.7%	5.0%	0.2%	-	-

(4) 転送の状況

搬送人員63,812人のうち99.1%は、転送なしで収容されているが、0.9%（573人）にあたる人は転送されている。

そのうち、転送回数1回の者が転送者全体の98.6%を占めている。

表-7 転送回数別搬送人員の状況

区分	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	
転送なし	63,239	34,909	7,188	7,591	13,551	
転送	1回	565	344	69	79	73
	2回	8	5		1	2
	3回					
	4回					
	5回以上					
	小計 (A)	573	349	69	80	75
計 (B)	63,812	35,258	7,257	7,671	13,626	
転送率 (A)/(B) × 100	0.9	1.0	1.0	1.0	0.6	

転送理由についてみると、救急告示医療機関、非告示医療機関ともに処置困難が多く、次いで専門外、ベッド満床の順になっている。

表-8 医療機関転送理由の状況

(単位：件，%)

区分	合計	ベッド満床	専門外	医師不在	手術中	処置困難	理由不明	その他	
救急告示	構成比	100.0	3.3	30.0		0.6	46.1	0.6	19.4
		180	6	54		1	83	1	35
非告示	構成比	100.0	2.0	35.9	0.3		51.7	0.5	9.7
		393	8	141	1		203	2	38
計	構成比	100.0	2.4	34.0	0.2	0.2	49.9	0.5	12.7
		573	14	195	1	1	286	3	73

(5) 救急隊員の行った応急処置の状況

平成19年中に転送された人員のうち、救急隊員によって応急処置された人の事故種別、処置項目状況をみると、急病においては、血中酸素飽和度の測定が最も多く、次いで血圧測定が多い。

また、交通事故、一般負傷においても、血中酸素飽和度の測定・血圧測定の順で処置が多くなっている。

表-9 救急隊員の行った応急処置の状況

(単位:人)

処置項目	事故種別	計	急病	交通事故	一般負傷	その他				
	応急処置対象搬送人員	59,936	34,286	6,677	7,235	11,738				
止	血	1,700	179	484	799	238				
固	定	4,566	122	2,684	1,188	572				
人	工	呼	吸	437	286	22	30	99		
心	マ	ッ	サ	ー	ジ	87	63	3	4	17
心	肺	蘇	生	1,574	1,161	62	141	210		
酸	素	吸	入	16,350	10,212	713	775	4,650		
気道確保(※気管挿管を除く)		2,265	1,666	92	168	339				
気管挿管		168	103	2	33	30				
保		温	2,896	1,893	183	289	531			
被		覆	3,693	90	1,517	1,709	377			
在宅療法継続		191	145	3	9	34				
ショックパンツによる血圧保持		1			1					
除		細	動	166	145	2	4	15		
静脈路確保(輸液)		243	184	7	28	24				
薬		剤	投	与	21	17		1	3	
血		圧	測	定	51,060	30,823	5,803	6,042	8,392	
聴診器による心音・呼吸音等の聴取		7,163	5,058	736	593	776				
血中酸素飽和度の測定		55,956	32,523	6,143	6,541	10,749				
心		電	図	12,501	9,365	367	567	2,202		
その他の応急処置		12,229	8,949	694	1,025	1,561				
計		173,267	102,984	19,517	19,947	30,819				

(注) 一人につき複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象搬送人員と事故種別ごとの処置項目の計の数は一致しない。

(6) 高速道路における救急業務の状況

高速自動車国道における救急業務実施体制は、平成20年4月1日現在、九州縦貫自動車道のうち鹿児島インターチェンジから宮崎インターチェンジ並びにえびのインターチェンジから人吉インターチェンジまでを沿線2市2組合で、相互応援協定を締結し、上下線方式により、第1次出場をインターチェンジ所在の常備消防が担当する体制を整えている。東九州自動車道31.7kmは沿線1市1組合が担当している。

県内においては、上り線が鹿児島インターチェンジから宮崎県えびのインターチェンジまでの69.8kmについて、第1次出場を担当し、救急業務を行っている。

なお、平成19年中の本県における救急活動は、下表のとおりである。

高速自動車道における救急活動状況

表-10 九州自動車道

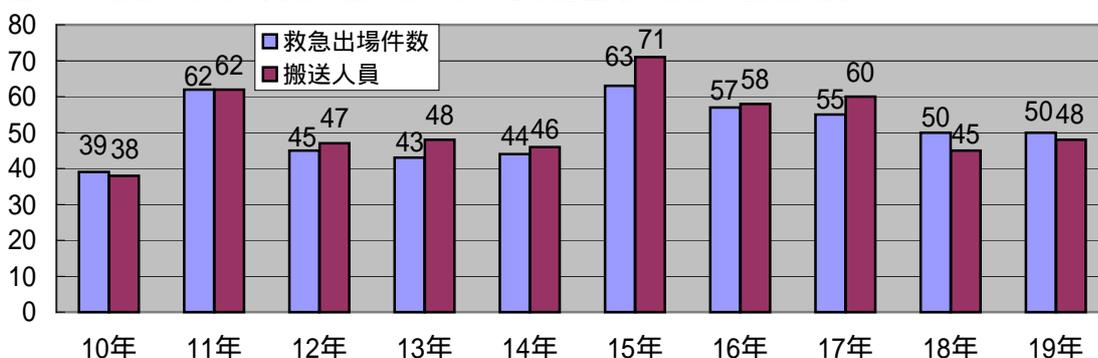
区 分	インターチェンジ名 (I C)	救急出場件数	搬送人員	救急告示 医療機関数	高速道路に おける救急活動 開始年月日
鹿児島市消防局	鹿児島	2	2	24	昭和63.3.29
	鹿児島北	5	1	3	昭和52.11.15
	薩摩吉田	9	7		昭和48.12.13
始良郡西部消防組合	始良	7	7	1	昭和48.12.13
	加治木	2	3	1	昭和48.12.13
霧島市消防局	溝辺鹿児島空港	7	8		平成17.11.7
	横川	3	3		平成17.11.7
大口市外四町消防組合	栗野	7	8		昭和55.3.22
計	8 I C	42	39	29	

(注) 医療機関は、インターチェンジから半径5キロメートルの範囲にあるものである。

表-11 東九州自動車道

区 分	インターチェンジ名 (I C)	救急出場件数	搬送人員	救急告示 医療機関数	高速道路に おける救急活動 開始年月日
霧島市消防局	国分	3	5	3	平成14.3.2
	隼人東	2	1	1	平成12.3.4
大隅曾於地区消防組合	末吉財部	3	3		平成14.5.9
計	3 I C	8	9	4	

図 - 3 最近10年間の高速自動車道における救急出場件数及び搬送人員



3 プレホスピタル・ケアの充実

プレホスピタル・ケア（救急現場及び搬送途上における応急処置）の一層の充実を図るために、平成3年8月に「救急隊員の行う応急処置等の基準」が改正され、これに伴い消防学校における新たな教育訓練（救急標準課程（平成16年4月1日より救急科に改称）及び救急課程）の修了者は、従来の応急処置に加えて9項目の処置を行うものとされ、救急救命士資格者は、医師の指示の下にさらに高度な応急処置（特定3項目）をも行うものとされた。

これに伴い、消防学校における救急科（救急標準課程）の修了者が計画的に養成されるとともに、救急救命士についても県内全消防本部において運用され、資格者、高規格救急自動車のいずれも着実に増加している。また、救急救命士の質の向上による救命効果を高めるため、平成15年2月に消防機関、救急医療機関、医師会などにより構成される鹿児島県救急業務高度化協議会を、同年3月に6地域（薩摩、北薩、始良伊佐、大隅、熊毛、大島）に地域救急業務高度化協議会を設置し、本県における救急業務の高度化について協議を行い、平成15年4月から包括的除細動を実施し、平成16年7月から認められた医師の具体的指示下での気管挿管についても救急業務高度化協議会で承認された病院で、体制の整った消防本部から順次病院実習を実施し、114名が認定を受け15消防本部で実施が可能となっている。また、平成18年4月から認められた医師の具体的指示下での薬剤投与についても、追加講習（病院実習を含む）を修了した50名が認定を受け、16消防本部で実施が可能となっている。

さらに、救急現場近くの一般市民による応急手当を促進するため、平成19年12月末までに応急手当指導員1,973名、応急手当普及員275名が県内消防本部により養成され、住民に対する応急手当講習会が次のとおり実施されている。なお、平成16年12月に応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱の一部改正により、非医療従事者による自動体外式除細動器（AED）の使用が可能となったことから、AEDの内容を含めた救命講習の実施率が高くなっている。

平成19年中の住民に対する応急手当講習会実施状況

普通救命講習	773回	15,221名受講
上級救命講習	16回	116名受講
その他の講習	1,346回	53,125名受講
計	2,135回	68,462名受講

表-12 救急業務高度化の推進状況

各年4月1日現在

区分	平成20年	平成19年	対前年比較	
			増減数	増減率
救急救命士運用消防本部数	19	19		1.00
救急隊員数	1,244	1,195	49	1.04
うち救急救命士有資格者 (/ :%)	312 (25.1%)	290 (24.3%)	22	1.08
(のうち気管挿管認定者)	114	78	36	1.46
(のうち薬剤投与認定者)	50	20	30	2.50
うち救急科（救急標準課程）・ 救急課程修了者 (/ :%)	848 (68.2%)	813 (68.0%)	35	1.04
救急自動車数	135	134	1	1.01
うち高規格車 (/ :%)	57 (42.2%)	47 (35.1%)	10	1.21
救急隊数	105	104	1	1.01
うち救急救命士運用隊 (/ :%)	74 (70.5%)	59 (56.7%)	15	1.25

救急救命士については、上記312名の外、救急自動車に同乗しない資格者が12名いる。
(有資格者は、324名)

表 - 13 救急業務実施体制等の状況（消防本部設置市町村）

区分 消防本部別	人口 (人) H17年 国調	面積 (km ²) H17.10.1 国地院	救 急 体 制										
			救急車総数		救急 隊数	救急 救命士 運用 隊数	救急隊員数						
			うち 高規 格	うち 予備 車			計	うち資格者・修了者			専任	兼任	
					救急 救命 士	標準 課程		救急 課程					
鹿児島市消防局	604,367	546.96	20	10	5	15	9	153	50	59	34	79	74
出水市消防本部	57,907	330.06	4	3	1	3	3	49	15	12	8	17	32
垂水市消防本部	18,928	162.01	3	1	1	2	1	31	6	14	11		31
薩摩川内市消防局	102,370	683.50	9	4	2	7	4	73	23	27	15	35	38
日置市消防本部	52,411	253.05	5	2	2	3	3	42	11	17	7	11	31
霧島市消防局	127,309	603.68	8	3		8	7	91	19	43	22	19	72
いちき串木野市 消防本部	32,993	112.04	3	2	1	2	2	28	8	7	10		28
さつま町消防本部	25,688	303.43	3	2	1	2	2	26	9	10	7	8	18
指宿地区消防組合	60,948	259.32	5	3		5	3	61	19	29	11		61
始良郡西部消防組合	74,840	231.31	4	1	1	3	1	24	7	10	4	21	3
南薩地区消防組合	94,892	605.77	11	4	1	11	9	153	26	84	39	26	127
阿久根地区消防組合	37,030	250.49	7	1	3	4	2	56	9	19	24		56
大口市外四町消防組合	44,065	536.69	6	2	1	5	2	53	11	18	21		53
大隅曾於地区消防組合	92,360	780.67	6	4	1	5	4	48	21	23	3	30	18
大隅肝属地区消防組合	151,549	1,160.89	10	4	1	9	9	90	25	35	12	25	65
沖永良部与論地区 広域事務組合消防組合	20,282	114.15	4		2	2	1	32	6	6	20		32
徳之島地区消防組合	27,167	247.91	4		1	3	1	41	5	16	20		41
熊毛地区消防組合	47,904	994.91	10	5	4	6	6	80	25	18	37		80
大島地区消防組合	79,034	878.20	13	6	3	10	5	113	17	45	51	8	105
計	1,752,044	9,055.04	135	57	31	105	74	1,244	312	492	356	279	965

救急救命士については、上記312名の外、救急自動車に同乗しない資格者が12名いる。
（有資格者は、324名）

〔現場到着平均所要時間及び収容平均所要時間は平成19年中、左記以外は平成20年4月1日現在〕

医 療 機 関 数											人口10万人 当たりの救急医 療機関数	現場到着 平均所要 時間 (分)	収容平均 所要時間 (分)
合計	救急告示医療機関					その他の医療機関							
	国 公 立	公 的	私 的		計	国 公 立	公 的	私 的		計			
病 院			診 療 所	病 院				診 療 所					
638	3	3	27	4	37	17	7	69	508	601	6.1	5.8	24.7
42	2				2	2		4	34	40	3.5	7.5	29.7
9	1		1		2			1	6	7	10.6	4.2	29.3
128		1	4		5	16	4	11	92	123	4.9	8.7	32.4
42			1		1	1		7	33	41	1.9	7.7	32.5
99	1		4	2	7	1		9	82	92	5.5	8.2	34.0
29								8	21	29		4.5	27.2
20								6	14	20		8.4	36.4
52	1		4	1	6			9	37	46	9.8	5.9	32.4
62			2		2	2		9	49	60	2.7	6.0	28.1
87	2		5		7	4		12	64	80	7.4	5.8	29.6
21			2		2	3		1	15	19	5.4	8.4	34.1
34	1		2		3			4	27	31	6.8	6.6	30.5
75			1	1	2	2		10	61	73	2.2	9.7	39.9
150	2		6	2	10	14		14	112	140	6.6	9.9	37.3
13			2		2				11	11	9.9	7.5	25.0
13			2		2	1		1	9	11	7.4	6.6	28.5
25			2		2	4		2	17	23	4.2	8.1	34.5
65	1		3		4	7		8	46	61	5.1	9.1	39.5
1,604	14	4	68	10	96	74	11	185	1,238	1,508	5.5	7.2	30.7

表 - 14 消防本部救急出場件数及び搬送人員

区分		事故種別救急出場件										
		計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病
消防本部名												
鹿児島市消防局		21,568	139	2	18	2,431	169	160	2,641	141	349	11,989
出水市消防本部		2,053	2			267	22	12	219	10	40	1,212
垂水市消防本部		947			1	95	8	4	110	3	3	467
薩摩川内市消防局		3,885	24		2	351	23	37	452	11	53	2,161
日置市消防本部		1,987	5		3	166	17	23	263	5	16	1,079
霧島市消防本部		5,021	6		8	693	35	38	625	24	71	2,678
いちき串木野市消防本部		1,218	1		4	99	12	14	132	1	15	591
さつま町消防本部		999	2		1	92	23	13	108	5	14	517
指宿地区消防組合		2,511	5			200	9	17	317	20	38	1,255
始良郡西部消防組合		2,808	3	2	3	308	19	19	363	12	47	1,502
南薩地区消防組合		3,860	8		10	346	28	44	475	9	45	2,002
阿久根地区消防組合		1,717				113	15	12	235	6	7	1,020
大口市外四町消防組合		1,807	1			140	29	11	210	4	21	925
大隅曾於地区消防組合		3,487	4	1	4	386	48	28	381	17	62	2,047
大隅肝属地区消防組合		5,762	5	1	3	636	33	48	624	17	76	3,267
沖永良部与論地区 広域事務組合		637	2		2	41	6	7	84	7	16	401
徳之島地区消防組合		1,748			1	82	6	12	228	11	16	1,280
熊毛地区消防組合		1,902	5	1	5	116	22	24	243	9	29	1,164
大島地区消防組合		4,069	2	1	7	215	13	24	464	25	39	2,437
計		67,986	214	8	72	6,777	537	547	8,174	337	957	37,994
時 間 区 分	0~2	3,166	10		1	189	4		338	57	69	2,198
	2~4	2,516	11		3	106	2		246	55	60	1,829
	4~6	2,299	6		3	125	5		200	22	44	1,715
	6~8	4,383	10		4	656	23		463	17	78	2,857
	8~10	8,085	23	2	4	833	114	39	1,039	16	85	4,194
	10~12	8,513	22	3	10	716	115	130	1,006	9	101	3,941
	12~14	7,725	26	1	11	725	72	104	817	13	85	3,813
	14~16	7,207	25	1	14	773	93	113	933	16	62	3,561
	16~18	7,231	19		8	972	67	73	1,003	19	127	3,481
	18~20	6,974	33	1	7	893	21	42	907	25	98	3,967
	20~22	5,608	16		3	469	16	44	723	40	93	3,590
	22~24	4,279	13		4	320	5	2	499	48	55	2,848

〔平成19年中〕

数				事故種別搬送人員											
その他				計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
転院搬送	医師搬送	資輸 機材等送	その他												
2,803	2		724	19,615	28	1	12	2,454	164	163	2,473	120	252	10,974	2,974
253	1	2	13	1,980	2			311	22	12	199	10	30	1,136	258
254	1		1	927			1	115	8	3	104	3	1	438	254
743			28	3,667	6		1	391	22	38	429	11	38	2,032	699
409			1	1,976	4		3	207	16	23	257	5	13	1,038	410
835			8	4,745	4		4	729	35	38	572	25	46	2,457	835
317			32	1,175	2		3	109	12	14	124	1	11	555	344
224				976	2		1	105	21	13	108	5	9	488	224
647			3	2,414	5			229	9	15	297	17	29	1,166	647
530				2,691	3	2	3	322	20	18	346	9	30	1,413	525
874	1		18	3,742	8		7	400	28	42	458	9	27	1,889	874
302	1		6	1,681				123	14	14	228	6	7	987	302
461			5	1,730				164	28	10	194	5	15	856	458
496			13	3,358	5	1	4	434	46	27	366	15	49	1,913	498
1,036			16	5,572	5	1	2	706	31	47	599	14	55	3,075	1,037
24		1	46	587	2		3	39		13	75	5	12	370	68
63			49	1,700				92	5	12	221	8	11	1,239	112
159	2		123	1,834	5	1	3	126	21	25	227	9	17	1,125	275
756	1		85	3,442	2	1	4	201	12	23	394	18	29	2,107	651
11,186	9	3	1,171	63,812	83	7	51	7,257	514	550	7,671	295	681	35,258	11,445
224			76	2,889	3			189	4		307	52	55	2,053	226
144			60	2,316	3		3	104	2		232	51	50	1,720	151
111			68	2,086	3		2	123	5		180	21	26	1,605	121
191		1	83	4,058	7		1	679	24		436	15	45	2,634	217
1,622	1		113	7,631	7	1	4	860	109	38	1,005	12	48	3,936	1,611
2,313	3		144	8,061	10	3	8	789	106	134	951	8	66	3,623	2,363
1,926	4		128	7,336	9	1	9	780	68	105	773	11	58	3,538	1,984
1,528		1	87	6,872	9	1	10	897	90	112	879	12	44	3,275	1,543
1,343		1	118	6,858	7		5	1,072	65	75	957	16	90	3,201	1,370
883			97	6,559	17	1	4	960	21	41	829	21	71	3,675	919
515	1		98	5,213	6		2	474	16	43	667	36	79	3,354	536
386			99	3,933	2		3	330	4	2	455	40	49	2,644	404

表 - 15 曜日別月別救急出場件数調

(平成19年中)

事故種別 区分		火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	そ の 他				計
												転院 搬送	医師 搬送	資機 材等 輸送	その 他	
曜日別	月	30		8	1,007	82	41	1,217	51	129	5,785	1,827			168	10,345
	火	29		8	927	75	24	1,091	45	140	5,183	1,741	2	1	151	9,417
	水	32	2	4	1,040	86	51	1,038	46	150	5,176	1,620	1	1	176	9,423
	木	42	2	17	981	101	48	1,073	38	147	5,196	1,637	4		173	9,459
	金	27		8	985	90	47	1,073	41	133	5,369	1,804	1		163	9,741
	土	23	4	12	1,001	68	111	1,275	48	125	5,544	1,528	1	1	178	9,919
	日	31		15	836	35	225	1,407	68	133	5,741	1,029			162	9,682
計		214	8	72	6,777	537	547	8,174	337	957	37,994	11,186	9	3	1,171	67,986
月別	1月	20		5	513	48	22	734	25	90	3,632	1,014	2		86	6,191
	2月	19		1	480	36	29	571	28	62	3,061	933		1	97	5,318
	3月	20		3	521	36	31	674	29	87	3,404	1,002	2		101	5,910
	4月	13		2	554	49	37	660	25	76	3,040	911			77	5,444
	5月	18	1	4	561	44	64	645	36	74	2,980	933			69	5,429
	6月	18		9	535	48	41	637	39	91	2,650	859	2		126	5,055
	7月	14	5	17	544	51	49	690	37	82	3,229	896			74	5,688
	8月	14	2	19	656	52	57	744	26	91	3,423	955		1	134	6,174
	9月	15		8	586	44	80	650	29	87	2,977	876	1	1	94	5,448
	10月	20		1	602	52	53	706	28	91	2,944	901	1		118	5,517
	11月	20		2	643	42	53	732	15	67	3,104	926			92	5,696
	12月	23		1	582	35	31	731	20	59	3,550	980	1		103	6,116

第4 応急手当指導員等養成講習の状況

表-16

【指導員】

区分	講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
	計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
十九年中修了者	応急手当指導員講習	11	2	2		7	19	2
	応急手当指導員講習	60	13		47			12
	応急手当指導員講習							
	消防長認定者	40	38			2	51	
	応急手当指導員講習免除者							
	計	111	53	2	47	9	70	14
前年中までの修了者	応急手当指導員講習	554	493	17		44	21	100
	応急手当指導員講習	806	357	2	447		1	64
	応急手当指導員講習	1	1					
	消防長認定者	409	350	14		45	9	
	応急手当指導員講習免除者	92	91	1				
	計	1,862	1,292	34	447	89	31	164
合計		1,973	1,345	36	494	98	101	178

表-17

【普及員】

区分	講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
	計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
十九年中修了者	応急手当普及員講習	27				1	26	2
	応急手当普及員講習							
	消防長認定者	8	8					
	応急手当普及員講習免除者							
	計	35	8			1	26	2
前年中までの修了者	応急手当普及員講習	129	72		4	1	52	5
	応急手当普及員講習	13				13	12	13
	消防長認定者	98	86	6		6	6	
	応急手当普及員講習免除者							
	計	240	158	6	4	20	52	18
合計		275	166	6	4	21	78	20

第2 救助活動の概況

1 救助業務実施体制

救

助隊である。

また、397人の救助隊員のうち43.8%にあたる174人が専任救助隊員である。

表-18 救助体制

(単位：隊，人)

区分 消防本部名	救助隊数			救助隊員数			
	省令	専任救助隊	兼任救助隊	計	専任救助隊員	兼任救助隊員	計
鹿児島市消防局	3	3		3	42		42
	4	2		2	28		28
	5	1		1	14		14
出水市消防本部	3	1		1	8		8
	4						
	5						
垂水市消防本部	3		1	1		8	8
	4						
	5						
薩摩川内市消防局	3	1	1	2	12	9	21
	4	1		1	12		12
	5						
日置市消防本部	3		1	1		10	10
	4						
	5						
霧島市消防局	3		2	2		12	12
	4						
	5						
いちき串木野市消防本部	3		1	1		6	6
	4						
	5						
さつま町消防本部	3		1	1		15	15
	4						
	5						
指宿地区消防組合	3		1	1		10	10
	4						
	5						
始良郡西部消防組合	3	1		1	8		8
	4						
	5						
南薩地区消防組合	3		2	2		30	30
	4						
	5						
阿久根地区消防組合	3		1	1		14	14
	4						
	5						
大口市外四町消防組合	3		2	2		23	23
	4						
	5						
大隅曾於地区消防組合	3	2		2	20		20
	4	1		1	10		10
	5						
大隅肝属地区消防組合	3	1	2	3	10	30	40
	4	1		1	10		10
	5						
沖永良部与論地区広域事務組合	3		1	1		15	15
	4						
	5						
徳之島地区消防組合	3		1	1		18	18
	4						
	5						
熊毛地区消防組合	3		1	1		15	15
	4						
	5						
大島地区消防組合	3		1	1		8	8
	4						
	5						
県計	3	9	19	28	100	223	323
	4	5		5	60		60
	5	1		1	14		14

省令3は省令第3条の規定による救助隊，省令4は省令第4条の規定による救助隊（特別救助隊），省令5は省令第5条の規定による救助隊（高度救助隊）

表-19 救助隊が搭乗する車両

区分 消防本部名	救 助 車	はしご車	屈はしご車	折はしご車	ポンプ車	水 槽 付 ポンプ車	化 学 車	そ の 他	計
	鹿児島市消防局	3							
出水市消防本部	1	1							2
垂水市消防本部								1	1
薩摩川内市消防局	1							1	2
日置市消防本部	1								1
霧島市消防局	2	2							4
いちき串木野市消防本部	1	1							2
三 島 村									
十 島 村									
さつま町消防本部	1								1
指宿地区消防組合	1	1				2		2	6
始良郡西部消防組合	1								1
南薩地区消防組合	2	1	1						4
阿久根地区消防組合	1								1
大口市外四町消防組合	2								2
大隅曾於地区消防組合	2	1							3
大隅肝属地区消防組合	1	1						1	3
沖永良部与論地区 広域事務組合	1								1
徳之島地区消防組合	1								1
熊毛地区消防組合	1								1
大島地区消防組合	1	1			1				3
県 計	24	9	1		1	2		5	42

2 救助業務実施状況

表-20 平成元年以降の救助業務実施状況の推移

(単位：件、人)

	出動件数	活動件数	救助人員
平成元年	805	278	353
平成2年	857	253	298
平成3年	956	250	300
平成4年	1,028	297	350
平成5年	1,185	357	4,955
平成6年	1,221	307	358
平成7年	1,049	306	332
平成8年	1,126	330	344
平成9年	1,138	359	415
平成10年	1,107	405	440
平成11年	1,137	428	495
平成12年	1,093	500	583
平成13年	1,158	519	594
平成14年	1,188	505	613
平成15年	1,153	458	548
平成16年	1,320	491	570
平成17年	1,259	591	552
平成18年	757	452	664
平成19年	772	484	732

平成19年中における救助業務の実施状況は、表-20のとおりであり、救助出動件数772件、救助活動件数484件、救助人員732人となっている。

これを前年と比較すると出動件数は15件(2.0%)の増加、活動件数は32件(7.1%)の増加、救助人員は68人(10.2%)の増加となっている。

表-21-1 事故種別出動件数及び活動人員の状況

(単位：件，人)

事故種別 区分	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風自 水然 害災 等害	機事 械に よる 故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
鹿児島市消防局	44	59	18	1	7	10	7		25	171
出水市消防本	1	35			1	1			13	51
垂水市消防本部		10	2		1				5	18
薩摩川内市消防局	1	26	1	1	1				14	44
日置市消防本部		13	2		1				4	20
霧島市消防局		85	3		2	2	1		31	124
いちき串木野市 消防本部		8	3						2	13
三島村										
十島村										
さつま町消防本部		16	1						4	21
指宿地区消防組合		12							11	23
始良郡西部消防組合		24	4		1	1	1		17	48
南薩地区消防組合	1	33	8		3				12	57
阿久根地区消防組合		11							5	16
大口市外四町消防組 合		22							3	25
大隅曾於地区消防組 合		30	4		1				5	40
大隅肝属地区消防組 合		27	8		1				6	42
沖永良部与論地区 広域事務組合		6	2		1				3	12
徳之島地区消防組合		1	2						1	4
熊毛地区消防組合		7	1		1				2	11
大島地区消防組合		11	2		1				18	32
救助出動件数 計	47	436	61	2	22	14	9		181	772
救助出 動人 員	専任救助隊員	257	790	160	14	66	63	33	294	1,677
	兼任救助隊員	2	557	75		34	6	2	204	880
	消防隊員	985	1,274	299	8	70	47	51	484	3,218
	救急隊員	129	1,492	177	2	70	36	26	505	2,437
	消防団員	393	5	154					121	673
	計	1,766	4,118	865	24	240	152	112	1,608	8,885

表-21-2 事故種別活動件数及び活動人員の状況

(単位：件，人)

事故種別 消防本部名	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風自 水然 害災 等害	機事 械に よる 故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
鹿児島市消防局	44	48	13	1	7	7	3		20	143
出水市消防本部	1	17				1			9	28
垂水市消防本部		4							4	8
薩摩川内市消防局	1	15		1	1				10	28
日置市消防本部		8	1						3	12
霧島市消防局		26	2		2				19	49
いちき串木野市 消防本部		5	1						2	8
三島村										
十島村										
さつま町消防本部		9	1						3	13
指宿地区消防組合		11							10	21
始良郡西部消防組合		22	4		1	1	1		16	45
南薩地区消防組合	1	18	6		2				6	33
阿久根地区消防組合		11							5	16
大口市外四町消防組合		4								4
大隅曾於地区消防組合		16	1						5	22
大隅肝属地区消防組合		11	5						3	19
沖永良部与論地区 広域事務組合			2						1	3
徳之島地区消防組合		1	2						1	4
熊毛地区消防組合		7	1		1				2	11
大島地区消防組合		6	1		1				9	17
救助活動件数 計	47	239	40	2	15	9	4		128	484
救助活動人員	専任救助隊員	235	411	96	10	38	26	16	185	1,017
	兼任救助隊員	2	228	48		17			112	407
	消防隊員	691	669	196	8	40	25	15	296	1,940
	救急隊員	99	796	106	2	50	20	9	341	1,423
	消防団員	243	2	109					114	468
	計	1,270	2,106	555	20	145	71	40		1,048

(注) 「救助活動件数」とは、救助活動件数のうち、実際に救助活動を行った件数をいう。

表-21-3 事故種別救助人員の状況

(単位：人)

事故種別 消防本部名	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風自 水然 害災 等害	機事 械に よる 故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
鹿児島市消防局	10	54	13		6	5			20	108
出水市消防本部	1	20				1			10	32
垂水市消防本部		4							4	8
薩摩川内市消防局	2	16		1	1				9	29
日置市消防本部		10	1						3	14
霧島市消防局		27	3		2				21	53
いちき串木野市 消防本部		9	1						2	12
三島村										
十島村										
さつま町消防本部		9	1						3	13
指宿地区消防組合		13							12	25
始良郡西部消防組合		28	4		1	1	1		14	49
南薩地区消防組合	2	27	6		2				6	43
阿久根地区消防組合		18							5	23
大口市外四町消防組合		4								4
大隅曾於地区消防組合		168	26						63	257
大隅肝属地区消防組合		13	5						3	21
沖永良部与論地区 広域事務組合			3						1	4
徳之島地区消防組合		1	2						1	4
熊毛地区消防組合		8	1		1				2	12
大島地区消防組合		9	1		1				10	21
救助人員 計	15	438	67	1	14	7	1		189	732

表-22 救助活動のための機械器具等の保有状況（救助隊保有分）

一般 用 救 助 用 器 具	かぎ付きはしご	29	隊 員 保 護 用 器 具	耐電手袋	105	
	三連はしご	26		耐電衣	27	
	金属折りたたみはしご又はワイヤはしご	20		耐電ズボン	25	
	空気式救助マット	24		耐電長靴	68	
	救命索発射銃	36		防塵メガネ	118	
	サバイバースリング又は救助用縛帯	77		携帯警報器	50	
	平担架	15		防毒マスク	62	
重 量 物 排 除 用 器 具	油圧ジャッキ	31	除器 染 用 具	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）	30	
	油圧スプレッター	14		陽圧式化学防護服	28	
	可搬ウィンチ	31		耐熱服	21	
	マンホール救助器具	9		放射線防護服	109	
	救助用簡易起重機	2		特殊ヘルメット	7	
	マット型空気ジャッキ	35		除染シャワー		
	大型油圧スプレッター	14		除染剤散布器		
切 断 用 器 具	救助用支柱器具	7	水 難 救 助 用 器 具	潜水器具	42	
	チェーンブロック	8		救命胴衣	188	
	油圧切断機	19		水中投光器	24	
	エンジンカッター	33		救命浮環	80	
	ガス溶断機	19		浮標	9	
	チェーンソー	30		救命ボート	7	
	鉄線カッター	39		船外機	8	
	空気鋸	23		水中スクーター	1	
	大型油圧切断機	14		水中無線機	3	
	空気切断機	11		水中時計	8	
破 壊 用 器 具	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	5	山用 助 器 具	水中テレビカメラ	1	
	万能斧	68		登山器具	13	
	ハンマー	32		バスケット型担架	29	
	携帯用コンクリート破壊器具	8		検用 器 索 具	簡易画像探索機	3
	削岩機	14			画像探索機	7
測 定 用 器 具	ハンマドリル	10	高 度 救 助 器 具	地中音響探知機	2	
	生物剤検知器	2		熱画像直視装置	5	
	可燃性ガス測定器	19		夜間暗視装置	2	
	有毒ガス測定器	22		水中探査装置	1	
	酸素濃度測定器	13		地震警報器	1	
呼 吸 保 護 用 器 具	放射線測定器	10	そ の 他 の 救 助 用 器 具	投光器	43	
	空気呼吸器	152		携帯投光器	39	
	空気補充用ポンベ	161		携帯拡声器	47	
	酸素呼吸器	26		携帯無線機	50	
	簡易呼吸器	6		応急処置用セット	21	
	防塵マスク	81		車両移動器具	7	
	送排風機	23		緩降機	23	
呼 吸 保 護 用 器 具	エアラインマスク	2	ロープ登降機	32		
			救助用降下機	5		
			発電機	44		

第3 自衛隊災害派遣による急患搬送

離島における医療体制の実情により、現地では治療困難な患者で、一刻も早く専門病院での手当てが必要である者に対して、昭和36年から自衛隊に対し、災害派遣要請（航空機搬送）を実施している。

搬送機関・活動範囲

海上自衛隊第一航空群 鹿屋救難飛行隊（鹿屋市）

十島村以北

陸上自衛隊第一混成団 第101飛行隊（沖縄県那覇市）

奄美大島以南

1 自衛隊災害派遣（離島急患搬送）の状況

平成19年中における急患搬送出動件数は122件である。（図-3）

出動件数122件を郡別にみると、大島郡（奄美市を含む）が80件（全体の65.6%）で、次に熊毛郡（西之表市を含む）が30件（同24.6%）、鹿児島郡等が11件（同9.0%）、薩摩川内市が1件（同0.8%）となっている。（図-4及び表-23）

また、月別では、10月の21件が最も多く、時間帯別（派遣時間）では18時から20時までが21件で最も多くなっている。（表-24）

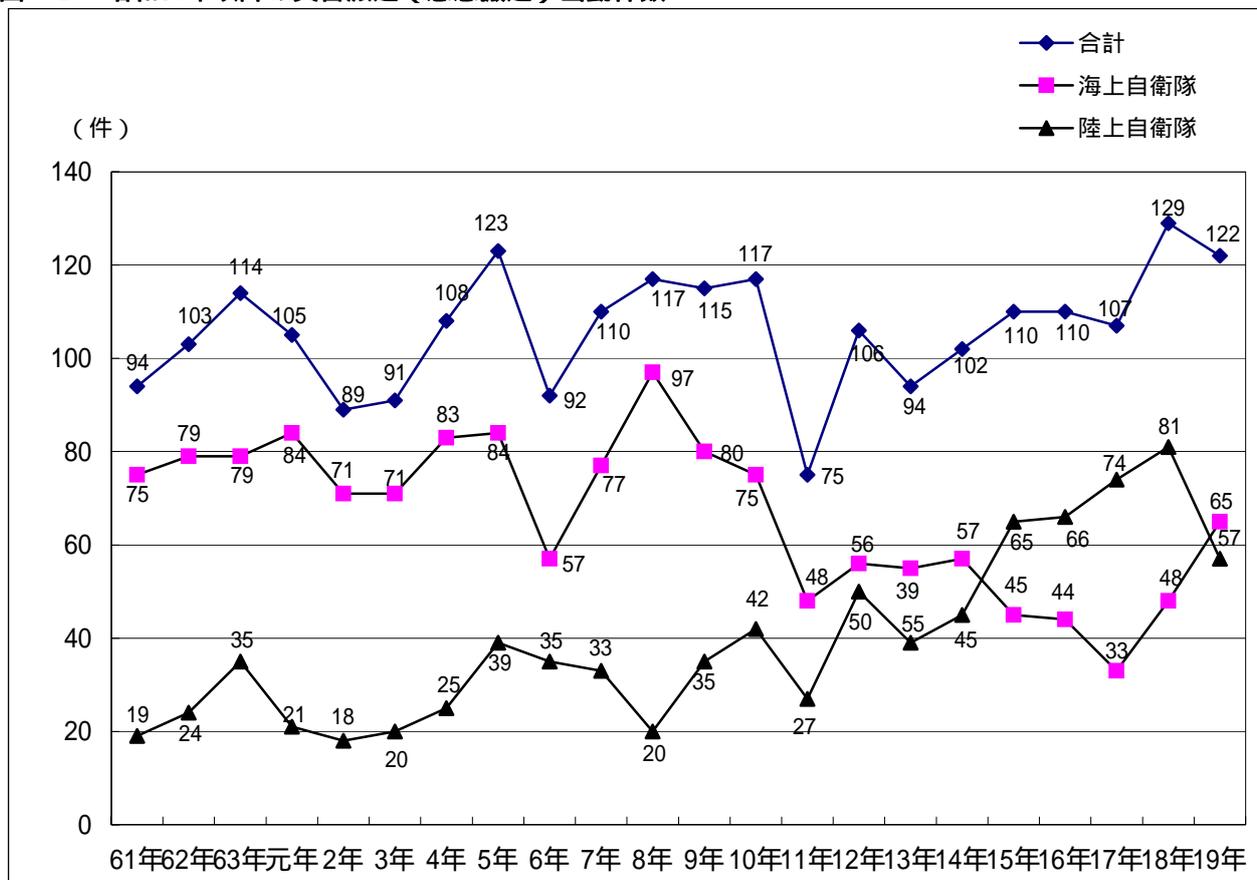
平成19年中の搬送人員を傷病別にみると、内臓疾患によるものが47人（全体の40.2%）で最も多く、次に産科・婦人科がそれぞれ21人（全体の17.9%）となっている。（表-25）

なお、平成19年3月30日（金）23時20分頃、徳之島からの急患搬送のため出動していた沖縄自衛隊第1混成団の自衛隊機が、視界不良のため徳之島町グラウンドの場外離着陸場に着陸できず、徳之島空港に向かう途中、徳之島町の山中に墜落する事故が起きた。

同機には自衛隊員4名が搭乗しており全員が死亡した。

4月15日沖縄で実施された自衛隊葬送式に知事が参列し、敬意と感謝を表すると共に御遺族に対し哀悼の意を伝えた。

図-3 昭和61年以降の災害派遣（急患搬送）出動件数



（注）「海上自衛隊」には、教育航空集団を、「陸上自衛隊」には南西航空混成団をそれぞれ含んでいる。

図 - 4 昭和61年以降の郡別災害派遣（急患搬送）の出動件数（その1）

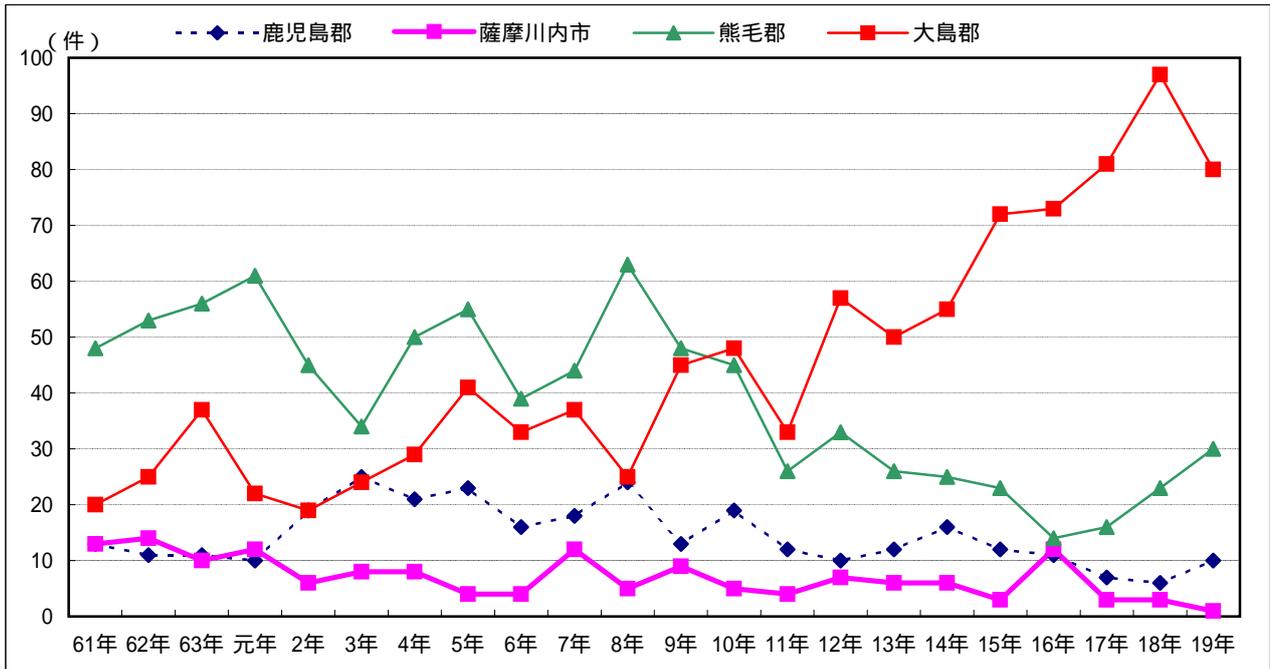


表 - 23 昭和61年以降の郡別災害派遣（急患搬送）出動件数（その2）

（年中）

年	計	鹿児島郡	薩摩川内市	熊毛郡	大島郡	計のうち不搬送件数
61	94 (19)	13	13	48	20 (19)	鹿屋1件
62	103 (24)	11	14	53	25 (24)	鹿屋2件
63	114 (35)	11	10	56	37 (35)	鹿屋3件
平成 元年	105 (21)	10	12	61	22 (21)	鹿屋1件
2	89 (18)	19 (1)	6	45	19 (17)	鹿屋3件, 沖縄1件
3	91 (20)	25	8	34	24 (20)	
4	108 (25)	21	8	50	29 (25)	鹿屋1件
5	123 (39)	23	4	55	41 (39)	鹿屋1件
6	92 (35)	16 (2)	4	39	33 (33)	沖縄1件
7	111 (33)	18	12	44	37 (33)	
8	117 (21)	24	5	63	25 (21)	
9	115 (35)	13	9	48	45 (35)	鹿屋1件
10	117 (42)	19	5	45	48 (42)	鹿屋1件
11	75 (27)	12	4	26	33 (27)	鹿屋1件
12	107 (50)	10	7	33	57 (50)	鹿屋2件
13	94 (39)	12	6	26	50 (39)	鹿屋2件
14	102 (45)	16	6	25	55 (45)	鹿屋2件
15	110 (65)	12	3	23	72 (65)	
16	110 (66)	11	12	14	73 (66)	
17	107 (74)	7	3	16	81 (74)	
18	129 (81)	6 (1)	3	23	97 (80)	鹿屋1件
19	122 (57)	11	1	30	80 (57)	鹿屋2件, 沖縄2件
計	2,335 (871)	320 (4)	155	857	1003 (867)	沖縄分構成比 (36.3%)
構成比率	101.7%	13.9%	6.7%	37.3%	43.7%	

（注） 1 ()内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。
 2 便宜上、熊毛郡には西之表市、大島郡には奄美市をそれぞれ含めている。
 3 平成7年、12年、14年及び19年の鹿児島郡には、各年1件ずつ、離島外からの搬送を含む。

表 - 24 昭和61年以降の月別及び時間帯別災害派遣（離島急患搬送）出動件数

年別 区分		61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8
		月 別	1	8 (1)	9 (2)	14 (8)	10 (2)	5 (1)	4 (1)	9 (3)	12 (5)	10 (4)
2	11 (3)		9 (2)	11 (2)	5	11	8	6 (3)	5	7 (1)	12 (8)	12 (4)
3	5		11 (2)	3 (1)	6 (2)	12 (2)	8 (1)	12 (2)	9 (1)	6 (1)	6 (1)	7 (2)
4	5 (1)		13 (2)	13 (2)	7 (1)	4	8 (1)	5 (2)	6 (1)	7 (2)	7 (1)	7 (2)
5	5 (1)		7	7 (3)	9 (1)	9 (1)	8 (3)	10 (2)	13 (2)	7 (5)	10 (4)	9
6	6 (1)		5	7	11 (2)	4 (2)	9 (2)	7	8 (3)	6 (3)	7	7 (1)
7	7 (3)		10 (1)	9 (5)	9	3	5 (2)	7 (1)	7 (2)	11 (5)	8 (2)	13 (1)
8	15 (3)		5 (2)	11 (4)	11 (1)	10 (2)	8 (4)	8 (1)	11 (1)	5 (2)	11 (4)	14 (3)
9	9 (2)		7 (3)	11 (3)	8 (4)	9 (2)	9 (2)	10 (4)	17 (8)	12 (6)	10 (4)	9 (2)
10	12 (1)		6	10 (3)	7	7 (2)	7 (1)	14 (3)	13 (5)	8 (3)	15 (2)	10 (2)
11	6 (1)		9 (6)	9 (2)	6 (2)	7 (4)	7 (1)	8 (2)	5 (2)	5	7 (2)	5 (1)
12	5 (2)		12 (4)	9 (2)	16 (6)	8 (2)	10 (2)	12 (2)	17 (9)	8 (3)	6 (1)	16 (2)
計		94 (19)	103 (24)	114 (35)	105 (21)	89 (18)	91 (20)	108 (25)	123 (39)	92 (35)	110 (33)	117 (21)
時 間 別	0~2	4 (2)	6 (3)	4 (2)	5 (3)	2 (2)	2 (1)	3 (3)	2 (1)	6 (2)	2	6 (3)
	2~4	4 (1)	6 (3)	4 (3)	1	2 (2)		4 (1)	3 (2)	1	3 (2)	4
	4~6	2 (2)	1		2	2		3 (2)	2 (2)	1	2	2
	6~8	1	2	6 (3)	5 (1)	4	3 (1)	5	2 (1)	2	5 (2)	6
	8~10	10 (1)	6	8	13 (4)	6	16 (1)	9 (1)	13 (3)	10 (3)	8 (1)	11 (2)
	10~12	18 (1)	12 (1)	12 (1)	9	16 (2)	14 (5)	18 (5)	19 (4)	18 (7)	16 (4)	13 (2)
	12~14	11 (2)	13 (2)	21 (5)	18 (3)	9 (1)	15 (2)	22 (4)	20 (11)	15 (6)	17 (3)	13 (1)
	14~16	11 (2)	19 (2)	10 (3)	13 (1)	18 (4)	11 (2)	12 (3)	17 (4)	12 (8)	21 (5)	18 (2)
	16~18	11 (2)	9 (2)	15 (4)	14 (5)	11 (3)	14 (6)	11 (3)	14 (3)	6 (2)	9 (1)	10 (3)
	18~20	12 (2)	9 (4)	10 (1)	12 (2)	9 (2)	5 (1)	6	16 (5)	10 (2)	13 (8)	18 (6)
	20~22	5 (2)	15 (5)	13 (5)	8 (1)	5	5 (1)	8 (2)	8 (1)	3 (1)	9 (5)	5
22~24	5 (2)	5 (2)	11 (8)	5 (1)	5 (2)	6	7 (1)	7 (2)	8 (4)	5 (2)	11 (2)	

(注) 1 ()内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。
 2 「時間帯」は、自衛隊の派遣時間である。

(年中)

9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	61～19年
9 (2)	10 (2)	5 (1)	12 (8)	8 (5)	5 (2)	5 (2)	10 (6)	9 (5)	11 (5)	8 (4)	192 (74)
11 (4)	13 (5)	5 (2)	12 (6)	5 (3)	8 (5)	4 (4)	15 (10)	8 (8)	11 (8)	8 (3)	197 (81)
8 (3)	11 (6)	13 (5)	4 (1)	8 (2)	8 (4)	13 (5)	10 (4)	10 (7)	9 (7)	16 (10)	195 (69)
15 (9)	13 (4)	4 (3)	6 (3)	5 (2)	2 (1)	8 (5)	9 (5)	10 (7)	11 (7)	9 (6)	174 (67)
8 (2)	8 (3)	9 (4)	9 (6)	6 (1)	11 (3)	11 (9)	7 (6)	11 (7)	7 (6)	4 (1)	185 (70)
7 (1)	9 (7)	2	11 (6)	7 (5)	5 (4)	12 (5)	4 (3)	8 (6)	11 (5)	10 (4)	163 (60)
7 (2)	11 (6)	11 (5)	7 (4)	6 (3)	13 (7)	9 (5)	7 (4)	7 (6)	11 (7)	2 (2)	180 (73)
12 (2)	10 (1)	5	9 (4)	8 (2)	7 (4)	5 (3)	4 (2)	5 (5)	13 (7)	11 (6)	198 (63)
3 (1)	4 (1)	4 (2)	7 (1)	10 (4)	14 (3)	8 (7)	15 (11)	8 (5)	8 (4)	7 (3)	199 (82)
14 (4)	10 (4)	3 (2)	11 (4)	9 (4)	13 (5)	13 (5)	10 (7)	13 (10)	6 (5)	21 (8)	232 (80)
8 (1)	3 (1)	6	12 (5)	17 (4)	8 (2)	11 (7)	11 (6)	8 (4)	17 (9)	13 (4)	188 (66)
13 (4)	15 (2)	8 (3)	6 (2)	5 (4)	8 (5)	11 (8)	8 (2)	10 (4)	14 (11)	13 (6)	230 (86)
115 (35)	117 (42)	75 (27)	106 (50)	94 (39)	102 (45)	110 (65)	110 (66)	107 (74)	129 (81)	122 (57)	2,333 (871)
3 (1)	2	4	5 (1)	2 (1)	6	10 (6)	6 (3)	3 (3)	6 (3)	2 (1)	91 (41)
3	1 (1)		5 (1)	5 (3)	9 (4)	2 (1)	2 (1)	4 (2)	3 (2)	2 (1)	68 (30)
5 (2)	4 (2)	1 (1)	10 (8)	6 (1)	3 (1)	2	5 (4)	4 (2)	5 (3)	5 (2)	67 (32)
7 (3)	4 (3)	3	4 (2)	2 (2)	3 (3)	3 (2)	6 (3)	10 (8)	5 (3)	7 (4)	95 (41)
7 (3)	11 (6)	8 (4)	11 (9)	6 (4)	11 (6)	19 (16)	13 (9)	7 (5)	11 (5)	13 (4)	227 (87)
20 (9)	17 (7)	8 (7)	9 (6)	12 (6)	12 (6)	21 (12)	21 (15)	14 (9)	21 (14)	19 (11)	339 (134)
11 (1)	20 (7)	8 (3)	4 (3)	8 (5)	8 (4)	9 (7)	11 (6)	11 (10)	19 (13)	11 (7)	294 (106)
13 (2)	15 (6)	11 (3)	8 (4)	8 (3)	8 (5)	6 (6)	12 (10)	8 (5)	5 (3)	10 (5)	266 (88)
13 (5)	14 (4)	12 (3)	14 (5)	16 (4)	12 (4)	12 (6)	9 (3)	14 (9)	18 (15)	10 (3)	268 (95)
21 (6)	10 (3)	8 (4)	17 (3)	8 (4)	16 (8)	5 (1)	11 (7)	9 (6)	13 (7)	21 (5)	259 (87)
8 (2)	14 (2)	8 (2)	9 (2)	9 (3)	9 (4)	14 (5)	9 (3)	14 (8)	11 (8)	13 (8)	202 (70)
4 (1)	5 (1)	4	10 (6)	12 (3)	5	7 (3)	5 (2)	9 (7)	12 (5)	9 (6)	157 (60)

表 - 25 平成19年中の市町村別搬送人員傷病別内訳

傷病別 市町村別		合 計	交通事故		労働災害		脳疾患	頭部損傷 (一般負傷)	産科・ 婦人科	小児科	内臓疾患	その他
			頭部	その他	頭部	その他						
鹿 児 島 郡	三 島 村	4					2					2
	十 島 村	6				1	2				2	1
薩摩川内市		1								1		
熊 毛 郡 (西之表市含)	西之表市	12				1			2	3	6	
	中種子町	4							1	1	2	
	南種子町	2									1	1
	屋久島町	12					2			2	8	
大 島 郡 (名瀬市含)	奄 美 市	12 (1)					1		6	1	4 (1)	
	龍 郷 町											
	大 和 村											
	宇 検 村											
	瀬戸内町	1 (1)									1 (1)	
	喜 界 町	21 (12)					6 (5)		1		9 (5)	5 (2)
	徳之島町	18 (18)				1 (1)	2 (2)		7 (7)	3 (3)	5 (5)	
	天 城 町	3 (3)							2 (2)		1 (1)	
	伊 仙 町	4 (3)		1 (1)					1 (1)		2 (1)	
	和 泊 町	6 (6)				1 (1)				1 (1)	3 (3)	1 (1)
	知 名 町	7 (7)					2 (2)			3 (3)	2 (2)	
与 論 町	4 (4)					2 (2)		1 (1)		1 (1)		
計		117 (55)		1 (1)		4 (2)	19 (11)		21 (11)	15 (7)	47 (20)	10 (3)

(注) ()内は、沖縄自衛隊搬送人員の内書きである。

表-26 昭和61年以降の離島急患搬送人員及び傷病別内訳

(年中)

傷病別 年別	計	交通事故		労働災害		脳疾患	頭部損傷 (一般負傷)	産科・ 婦人科	小児科	内臓疾患	その他
		頭部	その他	頭部	その他						
61	97 (20)	3 (1)	4 (1)			31 (3)	12 (2)		3 (1)	26 (3)	18 (9)
62	105 (25)	8 (3)	2 (1)	2	3	26 (3)	9 (2)	3 (1)	5 (3)	35 (10)	12 (2)
63	116 (37)	4 (1)	11 (3)		6 (2)	34 (12)	2	8 (5)	13 (6)	23 (4)	15 (4)
元	106 (21)	2 (2)	8 (1)	3 (1)	1	39 (5)	7 (3)	3 (1)	16	21 (7)	6 (1)
2	87 (17)	6 (3)	4	1		32 (3)	3 (1)	2 (2)	5 (1)	17 (3)	17 (4)
3	93 (21)	3	5 (3)	3 (1)	7 (2)	21 (5)	1	6	5	20 (4)	22 (6)
4	109 (25)	4	1		7	33 (4)	7 (1)	2 (2)	7	41 (15)	7 (3)
5	125 (41)	1 (1)				54 (13)	8 (2)	10 (5)	5 (1)	30 (15)	17 (4)
6	93 (33)	3 (2)	2 (1)		3	26 (12)	7 (4)	10 (3)	1	29 (9)	12 (2)
7	114 (33)	1 (1)	3	1	4	35 (12)	10 (5)	10 (5)		48 (10)	2
8	126 (25)	5 (1)	5 (1)		5 (2)	28 (4)	14 (2)	5 (2)	2 (2)	60 (11)	2
9	116 (37)	1 (1)	2 (1)	4 (1)	5 (1)	32 (10)	3 (1)	3 (1)	11 (4)	51 (16)	4 (1)
10	117 (43)	1 (1)	3 (2)		3	33 (11)	2 (1)	10 (6)	6 (1)	52 (18)	7 (3)
11	75 (28)	2	1 (1)	1	1	13 (6)	5 (2)	6 (2)	4	37 (15)	5 (2)
12	106 (51)	3 (2)	1 (1)		2	30 (18)	3 (3)	12 (6)	7 (3)	45 (18)	3
13	92 (39)	1 (1)	2	2 (1)	5 (1)	20 (9)	2 (2)	4 (3)	5 (2)	41 (16)	10 (4)
14	102 (46)	1 (1)	4 (3)		4 (2)	15 (5)	7 (3)	5 (4)	13 (8)	48 (18)	5 (2)
15	110 (66)	2 (1)	2 (1)		4 (1)	30 (15)	3 (1)	12 (11)	10 (9)	38 (22)	9 (5)
16	111 (66)	1 (1)	1 (1)		1	23 (11)	2 (1)	13 (8)	20 (16)	47 (28)	3
17	103 (71)		1			21 (16)	4 (2)	21 (15)	5 (5)	46 (30)	5 (3)
18	126 (79)		4 (4)	1 (1)	2 (1)	24 (9)		29 (20)	11 (7)	51 (35)	4 (2)
19	117 (55)		1 (1)		4 (2)	19 (11)		21 (11)	15 (7)	47 (20)	10 (3)

(注) 本表は、鹿屋の自衛隊第1航空群及び沖縄の陸上自衛隊第1混成団(内書き)が搬送した人員である。

第4 消防・防災ヘリコプターの活動

1 消防・防災ヘリコプターの導入

県では、大規模災害時における広範な消防防災活動を行うほか、急患搬送、災害危険箇所の調査点検などに幅広く活用するとともに、災害時の被害状況をよりの確かつ迅速に把握するため、消防・防災ヘリコプター「さつま」を導入し、平成10年4月1日、運航拠点となる枕崎空港に防災航空センターを設置するとともに枕崎、指宿、南さつまの3消防組合・本部から派遣された消防職員6名で編成する鹿児島県防災航空隊を発足させた。

2 消防・防災ヘリコプターの活動内容

消防・防災ヘリコプターは以下の活動を行うこととしている。

(1) 災害応急対策活動

- ア 被災状況等の調査及び情報収集活動
- イ 食料、衣料その他の生活必需品及び復旧資材等の救援物資、人員等の搬送
- ウ 災害に関する情報、警報等の伝達等広報宣伝活動
- エ その他、災害応急対策活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合

(2) 救急活動

- ア 山村、離島等からの救急患者の搬送
- イ 傷病者発生地への医師搬送及び医療機材等の搬送
- ウ 高度医療機関のない地域からの傷病者の病院搬送
- エ その他、救急活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合

(3) 火災防御活動

- ア 林野火災等における空中からの消火活動
- イ 被災状況調査及び情報収集活動
- ウ 消防隊員、消防資機材等の搬送
- エ その他、火災防御活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合

(4) 救助活動

- ア 河川、海等での水難事故、山岳遭難事故等における捜索または救助
- イ 高層建築物火災における救助
- ウ 山崩れ等の被害により、陸上から接近できない被災者等の救助
- エ 高速道路及び自動車専用道路での事故救助
- オ その他、救助活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合

(5) 広域航空消防防災応援活動

- ア 県が締結している他県との相互応援協定等による相互応援

(6) 災害予防活動

- (7) 自隊訓練のための活動
- (8) 各種防災訓練等への参加等
- (9) その他知事が必要と認める活動

表-27 消防・防災ヘリコプター「さつま」の諸元・性能

型 式	ベル式412EP型
定 員	15名
最 大 全 装 備 重 量	5,398kg
空 虚 重 量	3,124kg
有 効 搭 載 量	2,274kg
航 続 距 離	656km
最 大 巡 航 速 度	259km / h
限 界 高 度	6,096m
全 長	17.1m
全 幅	2.9m
全 高	4.6m
消 火 用 水 積 載 量	1,400ℓ (ドロップタンク)

表-28 消防・防災ヘリコプターの運航状況

(平成19年)

区分	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	総計	
緊急運航	災害応急対策活動	件数			1				1					2	73件 116時間05分	
		時間			5:20				1:25							6:45
	救急活動	件数	4	5	7	2	5	9	5	6	4	2		4		53
		時間	10:45	6:35	9:40	3:10	8:05	13:30	6:40	9:35	5:45	3:20		5:45		82:50
	火災防 御活動	件数														0
		時間														0:00
	救助活動	件数	1	3			5	2	2		2			1		16
		時間	0:45	3:30			6:15	3:30	4:05		2:35			1:05		21:45
	広域応援	件数			2											2
		時間			4:45											4:45
災害予防活動	件数	1				1								2	2件 2時間45分	
	時間	1:30				1:15								2:45		
合同訓練	他県広域関係	件数												0	32件 31時間00分	
		時間												0:00		
	県市町村関係	件数	5		2		6		2	1	3	1		20		
		時間	4:30		1:50		8:20		1:30	1:30	3:05	0:15		21:00		
	合同訓練 事前訓練	件数		1			4		1	2	2			2		12
		時間		0:50			3:15		0:50	1:30	2:20			1:15		10:00
自隊訓練	件数	7	6	15	11	5	9	6	10	7	2		7	85	85件 119時間25分	
	時間	6:30	8:05	18:10	15:50	7:10	11:05	13:40	18:25	10:10	2:55		7:25	119:25		
その他	件数	1	2					2			3		6	14	14件 13時間55分	
	時間	1:00	1:40					0:50			2:40		7:45	13:55		
合計	件数	19	17	27	13	26	20	19	19	18	8	0	20	206	206件 283時間10分	
	時間	25:00	20:40	39:45	19:00	34:20	28:05	29:00	31:00	23:55	9:10	0:00	23:15	283:10		

表-29 消防・防災ヘリコプターの活動状況（H19年中）

(1) 災害応急対策活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	3/31	ア	徳之島町天城岳	5:20
2	1	7/11	ア	南大隅町	1:25
2件 2回 6時間45分					

(2) 救急活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	搬送人員	時 間
1	1	1/9	ウ	曾於市	1	3:00
2	1	1/24	ウ	出水市	1	1:50
3	1	1/26	ア	三島村(黒島)	1	1:30
4	1	1/28	ア	十島村(宝島)	1	4:25
5	1	2/5	ウ	上屋久町	1	1:25
6	1	2/12	ウ	薩摩川内市(下甌)	1	1:05
7	1	2/16	ウ	西之表市	1	1:15
8	1	2/17	ウ	西之表市	1	1:30
9	1	2/18	ウ	西之表市	1	1:20
10	1	3/1	ウ	上屋久町	1	1:25
11	1	3/1	ウ	西之表市	1	1:35
12	1	3/6	ウ	薩摩川内市(上甌)	1	1:20
13	1	3/16	ウ	上屋久町	1	1:30
14	1	3/28	ウ	上屋久町	1	1:25
15	1	3/29	ウ	西之表市	1	1:15
16	1	3/29	ウ	薩摩川内市(下甌)	1	1:10
17	1	4/2	ウ	西之表市	1	1:20
18	1	4/27	ウ	出水市	1	1:50
19	1	5/11	ア	十島村(口之島)	1	1:55
20	1	5/13	ウ	上屋久町	1	1:30
21	1	5/17	ウ	西之表市	1	1:20
22	1	5/28	ウ	鹿児島市	1	1:45
23	1	5/31	ウ	上屋久町	1	1:35
24	1	6/7	ウ	西之表市	1	1:35
25	1	6/11	ウ	出水市	1	1:45
26	1	6/11	ア	十島村(口之島)	1	1:50
27	1	6/12	ウ	鹿児島市	1	1:30
28	1	6/19	ウ	上屋久町	1	1:25
29	1	6/20	ウ	西之表市	1	1:15
30	1	6/27	ウ	西之表市	1	1:15
31	1	6/29	ウ	上屋久町	1	1:25
32	1	6/30	ア	三島村(硫黄島)	1	1:30
33	1	7/2	ウ	薩摩川内市(下甌)	1	1:05
34	1	7/5	ウ	上屋久町	1	1:25
35	1	7/20	ウ	上屋久町	1	1:30
36	1	7/23	ウ	西之表市	1	1:15
37	1	7/23	ウ	上屋久町	1	1:25
38	1	8/4	ウ	西之表市	1	1:10
39	1	8/7	ア	十島村(宝島)	1	3:25
40	1	8/9	ウ	上屋久町	1	1:30
41	1	8/16	ウ	西之表市	1	1:05
42	1	8/18	ウ	西之表市	1	1:10
43	1	8/19	ウ	西之表市	1	1:15
44	1	9/6	ウ	西之表市	1	1:10
45	1	9/26	ウ	上屋久町	1	1:25
46	1	9/26	ウ	上屋久町	1	1:25
47	1	9/28	ウ	鹿児島市	1	1:45
48	1	10/1	ウ	出水市	1	1:50
49	1	10/6	ウ	南種子町	1	1:30
50	1	12/19	ウ	南種子町	1	1:25
51	1	12/22	ウ	西之表市	1	1:10
52	1	12/22	ウ	西之表市	1	1:15
53	1	12/29	ウ	出水市	1	1:55
53件 53回 82時間50分						

(3) 火災防御活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
0件 0回 0時間00分					

(4) 救助活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	1/23	才	穎娃町	0:45
2	1	2/10	ア	肝付町	0:15
3	1	2/11	ア	南さつま市	1:15
4	1	2/16	ア	加治木町	2:00
5	1	5/3	ア	霧島市	0:50
6	1	5/3	ア	指宿市	0:50
7	1	5/26	ア	霧島市	1:25
8	1	5/30	ア	霧島市	1:20
9	1	5/31	ア	屋久島町	1:50
10	1	6/10	ア	霧島市	1:25
11	1	6/19	ア	西之表市	2:05
12	1	7/16	ア	肝付町	2:05
13	1	7/16	ア	肝付町	2:00
14	1	9/2	ア	霧島市	1:20
15	1	9/24	ア	霧島市	1:15
16	1	12/23	ア	南九州市	1:05
16件 16回 21時間45分					

(5) 広域航空消防防災応援活動

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	3/1	ア	熊本県阿蘇	2:00
2	1	3/2	ア	熊本県阿蘇	2:45
2件 2回 4時間45分					

(6) 各種防火訓練等への参加等

件数	回数	月 日	訓練内容	訓練名及び実施場所	時 間
1	1	5/13	救助	平成19年度川内川水防演習	1:20
2	1	5/16	救助	薩摩川内市消防局地上隊連携訓練	1:40
3	1	5/17	情報収集	桜島昭和火口付近火山活動調査	1:25
4	1	5/18	要員搬送・消火	平成19年度鹿児島県総合防災訓練	1:10
5	1	5/27	救助	川辺町土砂災害による防災訓練	1:15
6	1	5/27	救助	垂水市土砂災害防災訓練	
7	1	5/31	消火	屋久町山林火災合同訓練	1:30
8	1	7/9	救助	鹿児島市消防演習	0:40
9	1	7/31	救助	平成19年度鹿児島県少年消防クラブ研修会に伴う訓練	0:50
10	1	8/8	要員搬送	平成19年度離島火山防災訓練	1:30
11	1	9/2	救助	平成19年度日置市総合防災訓練	1:15
12	1	9/2	救助	南さつま市防災訓練	
13	1	9/9	救助	穎娃町総合防災訓練集団災害事故訓練	0:40
14	1	9/27	救助	平成19年度鹿児島県石油コンビナート等総合防災訓練(いちき串木野市)	1:10
15	1	10/5	消火	南薩地区消防組合山林火災合同訓練	0:15
15件 15回 14時間40分					